

## 静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱

### (趣旨)

第1条 静岡市は、清水区の中心市街地の商業者が協力して七夕竹飾りの展示等の催事を開催する事業を支援することにより、地域の商店街の情報発信や市民とのふれあいを推進し、商店街のにぎわい創出と集客力の向上を図り、もって本市商業の更なる活性化と発展に寄与するため、清水七夕まつりを開催する事業（以下「清水七夕まつり開催事業」という。）を実施する清水七夕まつり実行委員会（以下「実行委員会」という。）に対して、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、その交付に関しては、静岡市補助金等交付規則（平成15年静岡市規則第44号。以下「規則」という。）及びこの要綱の定めるところによる。

### (補助事業)

第2条 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助事業」という。）は、実行委員会が実施する事業で、次に掲げるものとする。

- (1) 清水七夕まつり開催事業
- (2) 前号に掲げるもののほか、清水七夕まつり開催事業に附帯する事業で、商業の活性化を図るため市長が必要と認める事業

### (補助対象経費)

第3条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、補助事業に要する経費のうち、次の各号に掲げるものとする。ただし、販売促進事業に係る経費、関係者に支出する経費、交際費、関係者の飲食に要する経費その他補助対象経費として市長が不相当であると認める経費は、当該各号に掲げる経費であっても、補助対象経費としない。

- (1) 事業費（装飾製作・取付費、会場設営費、警備費等をいう。）
- (2) 広告宣伝費（広報・PR費等をいう。）
- (3) 会議費（会議開催費等をいう。）
- (4) 通信運搬費（郵便料金等をいう。）
- (5) 事務費（消耗品費、印刷製本費等をいう。）

### (補助金の額)

第4条 補助金の額は、補助対象経費に相当する額の範囲内において市長が定める額とし、973万円を限度とする。

### (交付の申請)

第5条 実行委員会は、補助金の交付の申請をしようとするときは、清水七夕まつり補助金交付申請書（様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、別に定める日までに市長に提出しなければならない。

- (1) 実施計画書
- (2) 収支予算書

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類

(交付の決定)

第6条 市長は、前条の規定による申請があった場合は、法令、予算等に照らしてその内容を審査し、必要があると認めるときは、現地調査等を行い、適当と認めるときは、補助金の交付を決定し、清水七夕まつり補助金交付決定通知書(様式第2号)により、実行委員会に通知するものとする。

(交付の条件)

第7条 市長は、前条の規定により補助金の交付の決定をする場合において、規則第6条第1号から第3号までに定めるもののほか、次に掲げる条件を付すものとする。

(1) 補助事業の収支に関する帳簿を備え、領収書等関係書類を整理し、並びにこれらの帳簿及び書類を補助金の交付を受けた年度の終了後5年間保管すること。

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項を遵守すること。

(変更の承認申請)

第8条 実行委員会は、第6条の規定により補助金の交付の決定を受けた場合において、補助事業を変更しようとするときは、あらかじめ清水七夕まつり変更承認申請書(様式第3号)に次に掲げる書類のうち市長が指定するものを添えて市長に提出し、その承認を受けなければならない。

(1) 変更事業計画書

(2) 変更収支予算書

(3) 変更部分に係る見積書

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類

(変更の承認)

第9条 市長は、前条の規定により承認の申請があった場合は、その内容を審査し、承認すべきと認めるときは、清水七夕まつり変更承認通知書(様式第4号)により実行委員会に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 実行委員会は、当該補助事業が完了したとき、又は補助金の交付の決定に係る会計年度が終了したときは、速やかに清水七夕まつり実績報告書(様式第5号)に次に掲げる書類を添付して、市長に提出しなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 収支決算書

(3) 収支を証する書類

(4) 補助事業の実施状況を示す写真

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が指定する書類

(補助金の額の確定)

第11条 市長は、前条の規定による実績報告書を受領した場合は、必要があると認めるとき

は、現地調査等を行った上で、その内容を審査し、その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するかどうかを調査し、適合すると認めるときは交付すべき補助金の額を確定し、清水七夕まつり補助金交付確定通知書（様式第6号）により実行委員会に通知するものとする。

（請求）

第12条 実行委員会は、前条の規定による通知を受けたときは、請求書を市長に提出しなければならない。

（概算払）

第13条 前条の規定にかかわらず、市長は、補助事業等の目的を達成するため特に必要があると認めるときは、補助金を概算払することができる。

2 実行委員会が前項の規定により概算払を請求するときは、清水七夕まつり補助金概算払請求書（様式第7号）を市長に提出するものとする。

3 概算払により交付した補助金の額と第11条の規定により通知した額とに過不足を生じたときは、速やかにこれを精算するものとする。

（消費税仕入控除税額に係る取扱い）

第13条の2 補助対象経費に含まれる消費税相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する仕入れに係る消費税額として控除することができる部分の金額（以下「消費税仕入控除税額」という。）がある場合の取扱いは、次のとおりとする。

（1）補助金の交付を受けようとする者は、第5条の規定による補助金の交付の申請時において、当該補助金に係る消費税仕入控除税額等（消費税仕入控除税額と当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税の税率を乗じて得た額の合計額に補助金の額を補助対象経費で除して得た率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）がある場合には、これを補助金所要額から減額して申請すること。ただし、消費税仕入控除税額等が明らかでない場合は、この限りでない。

（2）第6条の規定により補助金の交付の決定を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、第10条の規定による実績報告書（以下「実績報告書」という。）を提出するに当たり、消費税仕入控除税額等が明らかになった場合には、その金額（前号の規定により補助金の交付の申請時において、補助金に係る消費税仕入控除税額等を補助金所要額から減額した場合にあっては、その金額が当該減じた額を上回る部分の金額）を補助金の額から減額して報告すること。

（3）補助事業者は、実績報告書を提出した後において、消費税及び地方消費税の申告により消費税仕入控除税額等が確定した場合には、その金額（前2号の規定により減額した場合にあっては、その金額が当該減じた額を上回る部分の金額）を消費税仕入控除税額等報告書（様式第8号）に次に掲げる書類を添えて、速やかに市長に報告するとともに、市長の返還請求を受けたときは、これを市に返還しなければならないこと。

ア 補助事業を実施した会計年度の消費税及び地方消費税の確定申告書の写し

イ アに掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類

(4) 市長は、第6条の規定により補助金の交付の決定をする場合において、前2号の規定を遵守することを条件として付すものとする。

(雑則)

第14条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

清水七夕まつり補助金交付申請書

年 月 日

（宛先）静岡市長

所在地  
申請者 団体名  
代表者氏名  
電話

印

清水七夕まつり補助金の交付を受けたいので、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

- 1 交付申請額 円
- 2 添付書類

様式第2号（第6条関係）

第 号  
年 月 日

団体名

代表者

様

静岡市長 氏 名 印

### 清水七夕まつり補助金交付決定通知書

年 月 日付けで申請のありました清水七夕まつり補助金の交付については、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり決定しましたので通知します。

#### 1 交付決定額

#### 2 交付の時期

#### 3 交付の条件

- (1) 次に掲げる事項を変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けること。
  - ア 補助事業の目的及び内容
  - イ 補助事業の事業計画及び収入支出の予算
  - ウ 交付を受けようとする補助金の額の算出の基礎
- (2) 補助事業が予定の期間内に完了しないとき、又は当該事業の遂行が困難となったときは、速やかに市長に報告して、その指示を受けること。
- (3) 補助事業を中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けること。
- (4) 補助事業の収支に関する帳簿を備え、領収書等関係書類を整理し、並びにこれらの帳簿及び書類を補助金の交付を受けた年度の終了後5年間保管すること。
- (5) 補助対象経費に含まれる消費税相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する仕入れに係る消費税額として控除することができる部分の金額（以下「消費税仕入控除税額」という。）がある場合は次のとおり取り扱うこと。
  - ア 要綱第10条の実績報告書を提出するに当たり、消費税仕入控除税額等（消費税仕入控除税額と当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税の税率を乗じて得た額の合計額に補助金の額を補助対象経費で除して得た率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）が明らかになった場合には、その金額（補助金の交付の申請時において、補助金に係る消費税仕入控除税額等を補助金所要額から減額した

場合にあつては、その金額が当該減じた額を上回る部分の金額)を補助金の額から減額して報告すること。

イ 要綱第10条の実績報告書を提出した後において、消費税及び地方消費税の申告により消費税仕入控除税額等が確定した場合には、その金額(補助金の交付の申請時及び実績報告書の提出時において、補助金に係る消費税仕入控除税額等を補助金所要額から減額した場合にあつては、その金額が当該減じた額を上回る部分の金額)を消費税仕入控除税額等報告書(様式第8号)に次に掲げる書類を添えて、速やかに市長に報告するとともに、市長の返還請求を受けたときは、これを市に返還しなければならないこと。

(ア) 補助事業を実施した会計年度の消費税及び地方消費税の確定申告書の写し

(イ) (ア)に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類

(6) (1)から(5)までに掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項を遵守すること。

#### 4 その他

様式第3号（第8条関係）

清水七夕まつり変更承認申請書

年 月 日

（宛先）静岡市長

所在地  
申請者 団体名  
代表者氏名  
電話



年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定を受けた清水七夕まつり開催事業について、その事業計画を変更したいので、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1 変更の内容

変更前	変更後

2 変更理由

3 変更後の補助金交付申請額



様式第4号（第9条関係）

第 号  
年 月 日

様

静岡市長 氏 名

清水七夕まつり変更承認通知書

年 月 日付けで申請のありました清水七夕まつり変更承認申請について、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第9条の規定により、次のとおり承認したので通知します。

承認事項

様式第5号（第10条関係）

清水七夕まつり実績報告書

年 月 日

（宛先）静岡市長

	所在地	
報告者	団体名	
	代表者氏名	印
	電話	

年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定を受けた清水七夕まつり開催事業について、次のとおり完了したので、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第10条の規定により報告します。

1 完了日 年 月 日

2 添付書類

様式第6号（第11条関係）

第 号  
年 月 日

団体名  
代表者 様

静岡市長 氏 名 印

清水七夕まつり補助金交付確定通知書

年 月 日付けで申請のありました清水七夕まつり補助金の交付については、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第11条の規定により、清水七夕まつり実績報告書に基づき、次のとおり確定しましたので通知します。

1 交付決定額 円

2 交付確定額 円

様式第7号（第13条関係）

清水七夕まつり補助金概算払請求書

年 月 日

（宛先）静岡市長

	所在地	
請求者	団体名	
	代表者氏名	印
	電話	

清水七夕まつり補助金の概算払を受けたいので、静岡市清水七夕まつり補助金交付要綱第13条の規定により、次のとおり関係書類を添えて請求します。

- 1 概算払請求額 円
- 2 概算払を請求する理由
- 3 添付書類
- 4 振込先口座

様式第8号（第13条の2関係）

消費税仕入控除税額等報告書

年 月 日

（あて先）静岡市長

住所	〔 法人にあつては、その主 たる事務所の所在地 法人にあつては、その名 称及び代表者の氏名 〕	印
報告者 氏名		
電話		

年 月 日付け 第 号により補助金の交付の決定を受けた清水七夕まつりの補助金に係る消費税仕入控除税額等が確定したので、次のとおり報告します。

- 1 補助金の確定額（年 月 日付け 第 号による額の確定通知額）  
金 円
- 2 補助金の交付の申請時及び実績報告時に減額した消費税仕入控除税額  
金 円
- 3 消費税及び地方消費税の申告により確定した消費税仕入控除税額  
金 円
- 4 補助金返還相当額（3の額から2の額を差し引いた額）  
金 円